



イエス・キリストの弟子としての喜び

今日は散々だった、そんな経験はありますか。そんなとき、元気を出すためにどのようなことをしましたか。ワークドルフ管長は、わたしたちが「それぞれに心痛や落胆、悲しみを抱えて〔おり、〕失望し、時には途方に暮れることもある〔だろう、〕」ということを知っています。

ワークドルフ管長の解決策は、いわゆる「弟子としての人生」を生きること、す

なわち、「忠実で信仰をもって前進し続ける」ことにあります。信仰をもって前進するなら、わたしたちは神を信頼して神の戒めを守り、人々に奉仕し、その間ずっと喜びを感じることができるのです。ワークドルフ管長が言うように、「弟子としての人生を生きる人〔は〕……その小さな行いにより、しばしば大きな違いを生み出しているのです。」

あなたが弟子としての人生を送るための方法を、リストにしてみませんか。例えば、「親が夕食を作るのを手伝う」といった奉仕のアイデアや、「きょうだいにもっと忍耐強くあるように祈る」といった、戒めを守るためのアイデアを書き出すことができます。今後、失望したり、途方に暮れたりするようなことがあれば、作ったリストを取り出してアイデアを選び、実行してみてください！

子供

幸せになるお手伝い

イエスにしたがって親切になろうと努力するとき、わたしたちはほかの人が幸せになるのを助けていることになります。親切になると、わたしたちも幸せになるのです！ほかの人に親切にするため、今週できることを2つか3つ選びましょう。

